

いきものと社会の未来のために。



ABINC

Association for Business Innovation
in harmony with Nature and Community

Gift for the future

いきものとの共生は、
未来への贈り物

これまで私たちは、潤いのある街づくりを目指して
都市の庭づくりをすすめてきました。
その中で私たちは、花やみどりには
「人と自然をつなげる力」があることを学びました。

足をとめて、街角のみどりに目を留めてください。
そこにはきっと、
人といきものが織りなす物語がねむっています。
いきものと共生したみどりの空間づくりに、
ぜひご参加ください。

いきものが、歴史あるみどりと新しいみどりをつなぎ、
街全体が豊かな自然を共有する

私たちは、そんな街づくりをめざしています。
「都市の庭づくり」から、「都市の生態系ネットワーク」へ。
そして「都市の森づくり」へ。

日常のなかで自然と共生してゆく。
そんな街を、私たちとともにつくりませんか。





ABINC
Association for Business Innovation
in harmony with Nature and Community

エイビック
ABINCって、
どんな活動をして
いるの？

私たち ABINC は、自然と共生した持続可能な未来をつくるために、
企業ビジネスの中で豊かな社会づくりに貢献する施設を
評価・認証する活動などを行なっています。

- 豊かな生態系づくりに配慮した施設を評価・認証する事業
- いきものを通じて自然への理解を深めるコミュニケーション活動
- 自然と人が共生するための取り組みを普及・啓発・研究する事業

ABINC 認証は、「SDGs=持続可能な開発目標」への貢献にもなります。



いきものの視点から社会課題の解決に役立ちます。



街と自然は、共存できるはず。

いきものと豊かに暮らせるまちを目指して。

こんな施設が、ABINCの認証を受けています。



エイビック ABINC 認証

生物多様性に配慮した施設や建物などを認証する制度

ABINC 認証とは「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づき、オフィスビルや集合住宅などの土地利用における生物多様性保全の取り組みを認証する「いきもの共生事業所®認証」のことです。

都市SC版

商業施設やショッピングセンターの緑地を評価・認証

集合住宅版

マンションなど集合住宅の緑地を評価・認証

工場版

生産工場や再開発ビルなどの緑地を評価・認証

戸建住宅版

分譲住宅など、街づくりに係る緑地を評価・認証

物流施設版

物流施設の緑地を評価・認証



都市SC版

三井住友海上火災保険
三井住友海上 駿河台ビル/
駿河台新館

「ひとにもいきものにもやさしい」周辺環境と調和を目指した施設。鳥の好む樹種を選定するとともに、緑地の蓄雨効果により、水害の減災にも役割を果たしている。

東京都千代田区 / 1984年竣工 / 約7,200m²



集合住宅版

三菱地所
世田谷ハウス

生物多様性保全の実験庭園として社宅の中庭を改修、在来種中心の植栽やレインガーデン、エコスタックなど、さまざまな配慮を取り入れながらモニタリングも行う。

東京都世田谷区 / 2016年改修 / 約4,800m²



工場版

凸版印刷
トッパンパッケージプロダクツ
深谷工場

工場の敷地面積の25%にあたる42,000m²が雑木を主体にした緑地となっており、従業員やその家族が参加しながら「野鳥の楽園づくり」が行われている。

埼玉県深谷市 / 2009年竣工 / 約166,200m²



工場版

JXTGエネルギー
JXTGエネルギー知多製造所

学生や地域の住民と協力しながら、40年以上育み続けるをグリーンベルトに活力を与えるとともに、ピオタープの造成などにも積極的に取り組んでいる。

愛知県知多市 / 1973年竣工 / 約130万m²



戸建住宅版

住友林業緑化株式会社
フォレストガーデン秦野

富士山を望む場所にあり、湧水公園にも接した戸建住宅地。植生や循環に配慮した周辺の水辺には、絶滅危惧種のホトケドジョウやカワセミなども訪れる。

神奈川県秦野市 / 2019年竣工 / 約6,200m²



物流施設版

清水建設
S・LOGI 新座 West

草地や雑木林、レインガーデンなどとともに、緑地管理や外来種対策のマニュアルなども整備。武蔵野の自然と共生しながら、しっかりと機能することを旨とした物流施設。

埼玉県新座市 / 2019年竣工 / 約60,700m²



エイビック アドバンス ABINC ADVANCE 認証

生物多様性に配慮した広域かつ複合的なまちづくりを認証する制度

複数の街区が協力し合うプロジェクトの生態系保全を行う取り組みを対象としているのが、ABINC ADVANCE 認証。地域のサステナビリティへの貢献も評価の対象となります。



三井不動産レジデンシャル (他 10社) HARUMI FLAG

HARUMI FLAGは約13.3haの広大な土地に、分譲・賃貸・商業施設を含めた24棟を建設し、5,632戸の住宅・保育施設・介護施設なども整備し、多様なライフスタイルを受け入れる人口約12,000人となる街づくり計画です。海と緑との共生、さらには生物多様性に配慮した環境創造型プロジェクトです。

住所：東京都中央区

ABINCの行う認証事業について

自然と人との共生を企業活動において促進することを目的に、企業における生物多様性に配慮した緑地づくりや管理・利用などの取り組みを、一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ (JBIB) が作成した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」及び「土地利用通信簿®」を認証基準として、第三者評価・認証しています。

ABINC認証を受けると、こんなメリットがあります

ABINCはJBIBが作成したガイドラインに沿って生物多様性に配慮した企業の取り組みを評価する、信頼性の高い認証制度です。認証を受けることで、環境に配慮した活動を社会に広く知ってもらうことができるだけでなく、さまざまな環境性能評価に応用することも可能であり、長期的な視点で不動産としての価値を向上させることにもつながります。

Value

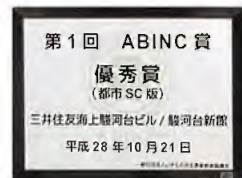
これまでコスト要因と考えられがちであった「緑地」に「新しい価値」を見出すことで、不動産価値を向上させます。

ABINC 認証 6つの メリット

SustainabilityGoals

生物多様性の活動に取り組む指標となるとともに、コンセプト立案・緑地活用・維持管理などの目標設定に役立ちます。

Prize



ABINC認証を取得した事業所のうち、特にすぐれた取り組みと評価されたものにはABINC賞が授与されます。

Pride

「いきものに配慮した緑地」をつくり活用する取り組みに対する評価を、社会にわかりやすい形で示すことができます。

NetworkCommunication

ABINCの発信するニュースレターにより、生物多様性に関する取り組みの最新情報などを共有することができます。



CertificationTrust

「CASBEE不動産マーケット普及版」「DBJグリーンビルディング認証」「GRESB認証」などの環境性能評価にも利用が可能です。

認証評価項目

1 生物多様性に貢献する環境づくり

その地域で本来みられるべき生物が多く生息・生育できる緑地づくりという視点から、企業緑地の面積や構造、地域に根ざした植生などのハード面を中心に評価を行います。

2 生物多様性に配慮した維持管理

自然の循環を最大限に活かすという視点から、化学物質の適切な使用、水循環や物質循環への配慮、指標生物のモニタリング状況など、維持管理について評価を行います。

3 周囲の人々とのコミュニケーション

生物多様性の取り組みを継続し高い効果を得るために、地域との連携、活用プログラムの推進、従業員等の参画と育成など、関係する人々とのコミュニケーションについて評価を行います。

4 その他の取り組み

1、2、3項目での評価には含まれていない、地域の希少種の保全に貢献する整備活動などについて、ポータルポイント/イノベティブポイントとして評価を行います。

ABINCの活動理念

ABINCは、「自然と共生する世界」を実現するための企業活動支援や広報の活動を行いながら、科学的・技術的な検証も実施することで、いきものと人が共生できる仕組みを持続させてゆくことを目的として設立されました。

ABINC 認証事業所(サイト)とは

JBIB(一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ)が開発した、いきもの共生事業所[®]推進ガイドラインの考え方に沿って計画・管理され、かつ土地利用通信簿で基準点以上を満たし、当審査過程において認証された事業所をさします。

団体概要 (2024年9月現在)

設立 2013年12月25日

役員

会長	森本幸裕	京都大学 名誉教授
副会長	原口 真	一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 顧問
理事	足立直樹	一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 理事・事務局長
	小松裕幸	清水建設株式会社 環境経営推進室 グリーンインフラ推進部主席マネージャー
	高塚 敏	株式会社地域環境計画 代表取締役
	長澤基一	株式会社日本設計 ランドスケープ・都市基盤設計部 ランドスケープ設計グループ長
	村山顕人	東京大学 大学院工学系研究科 准教授
監事	梶谷 修	一般社団法人 日本環境アセスメント協会 顧問
	渡邊哲朗	税理士法人 渡辺総研
顧問	窪木登志子	窪木法律事務所 代表

ABINC 認証の概要

対象	工場・オフィスビル・商業施設・集合住宅・物流施設・戸建住宅団地・ゴルフ場・企業林等で、生物多様性に配慮した建築自体または緑地を計画または配置しているものを対象とします。
審査方法	いきもの共生事業所 [®] 推進ガイドライン等に基づいてABINC 審査員および認証委員会が主に申請書類の審査を行います。
認証書交付および公表	ABINC ホームページ、関連媒体等で認証結果を公表します。
認証表示	認証を受けた申請者は、対象建築物等に認証ロゴを表示することができます。
有効期間	認証交付日から起算し3年とします。ただし竣工前の対象建築物については、完全竣工日から起算し3年とします。(但し、ゴルフ場版・企業林版は5年)

会員企業 (24社：関連会社含む、2024年9月現在)

- ・MS&AD インシュアランスグループ
ホールディングス株式会社
- ・MS&AD インターリスク総研株式会社
- ・株式会社環境指標生物
- ・株式会社岐阜造園
- ・株式会社熊谷組
- ・株式会社グリーンフィールド
- ・株式会社グリーン・ワイズ
- ・清水建設株式会社
- ・住友林業株式会社
- ・住友林業緑化株式会社
- ・西武造園株式会社
- ・大日本コンサルタント株式会社
- ・大和ハウス工業株式会社
- ・大和リース株式会社
- ・株式会社竹中工務店
- ・株式会社地域環境計画
- ・東邦レオ株式会社
- ・株式会社日本設計
- ・特定非営利活動法人 NPO birth
- ・株式会社日比谷アメニス
- ・株式会社プレック研究所
- ・株式会社ポリテック・エイディディ
- ・三菱地所株式会社
- ・株式会社三菱地所設計

(敬称略 五十音順)



認証、入会等に関する詳細は下記にお問い合わせください。

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会
(略称：ABINC エイビंक)

tel. 045-228-7696 e-mail info@abinc.or.jp

website abinc.or.jp

事務局：MS&AD インターリスク総研株式会社